



取り付け

Cisco 4400 シリーズ Wireless LAN Controller (以降、コントローラ) では、1つまたは2つの電源装置を使用して電力が供給されます。コントローラに2つの電源装置を装着すると、電源が冗長構成になるため、一方の電源に障害が発生しても、他方の電源で電力の供給を続けることができます。

1つ目の電源は、製造段階においてデフォルトでスロット2に取り付けられます。冗長性のために、製造段階で電源をもう1つ発注して、スロット1に取り付けることができます。電源はいずれのスロットにも装着可能で、故障した電源と現場で交換することができます。

必要なツールと電源

電源装置を取り付けるには、次が必要です。

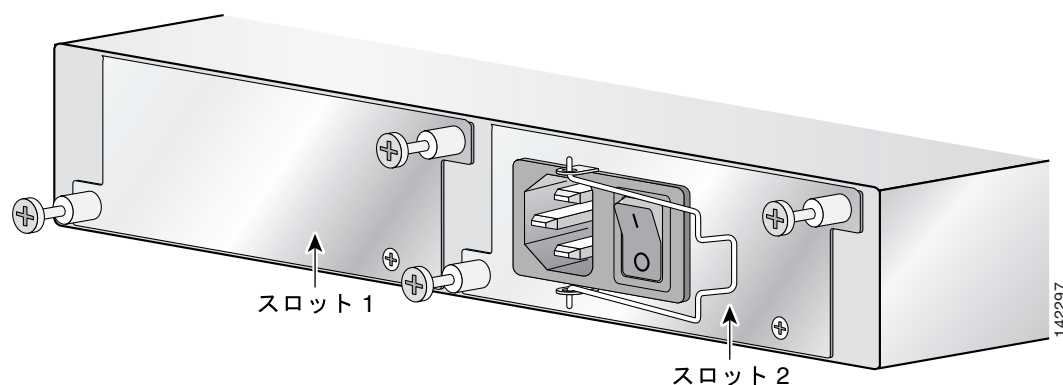
- コントローラにつき1つまたは2つの電源
- 取り外しの際に使用する電源のスロットカバー
- Phillips ドライバ (No.1)

Cisco 4400 シリーズ電源の取り付け

ホットスワップ可能電源をコントローラの背面パネルに取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** コントローラの背面パネルで電源のスポットを見つけます。スポット 1 の電源は一番左のスポットに取り付けられ、スポット 2 の電源はコントローラの背面の一番右のスポットに取り付けられます。

図 1 コントローラのスポット

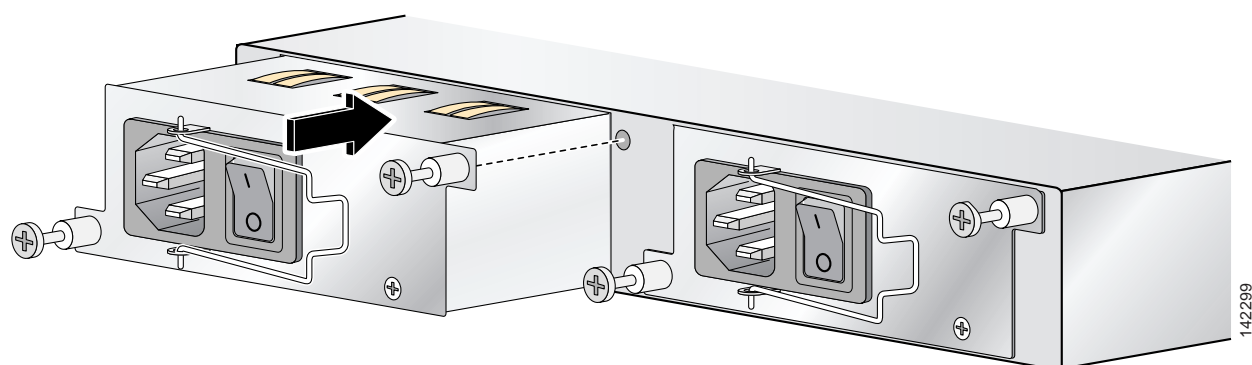


- ステップ 2** Phillips ドライバを使用して必要な電源スポットから非脱落型ネジを外し、カバーを取り外します。電源のスポットカバーは、今後使用するために保管しておきます。

- ステップ 3** 電源の電源スイッチを 0 (OFF) の位置に切り替えます。

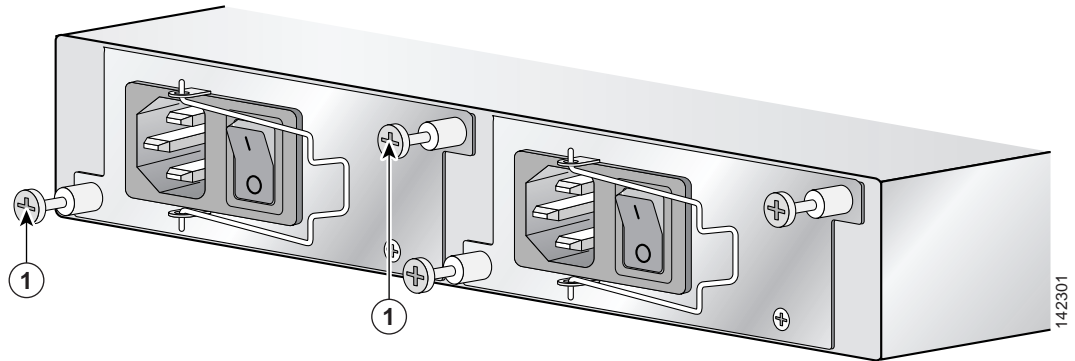
- ステップ 4** 電源をスポットに挿入します。電源の入力コンセントが、[図 2](#) に示すようにスポットの左側にあることを確認してください。

図 2 電源の挿入



- ステップ 5** カード型電気コネクタに完全に装着されるまで、スロットに電源を丁寧にしっかりと押し込みます。用意されている非脱落型ネジを使用して電源をコントローラに固定します。

図 3 スロットに挿入された電源



- ステップ 6** 電源コードの一端を電源に差し込み、もう一方の端をアース処理されている 95 ~ 260VAC 50/60 Hz コンセントに接続します。

- ステップ 7** 金属製ベイルを使用して電源コードを電源に固定します。

- ステップ 8** 対応する電源スイッチを 1 (ON) の位置に切り替えます。

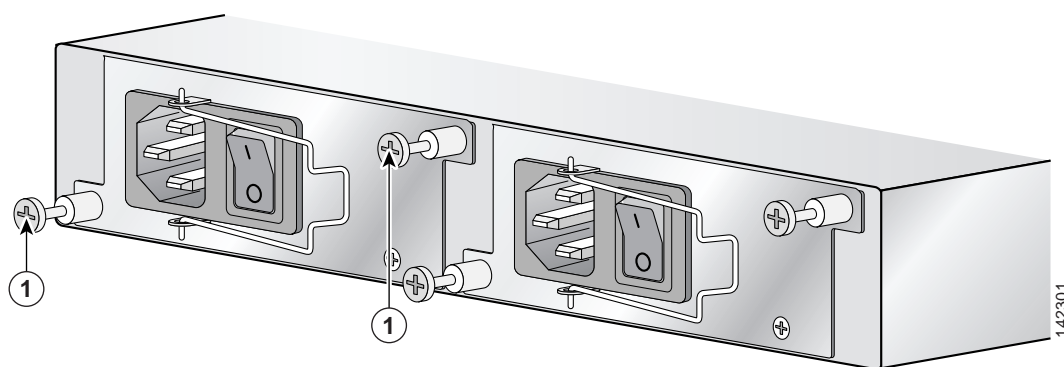
以上で、コントローラに電源が取り付けられました。

Cisco 4400 シリーズ電源の取り外し

ホットスワップ可能電源をコントローラの背面パネルから取り外す手順は、次のとおりです。

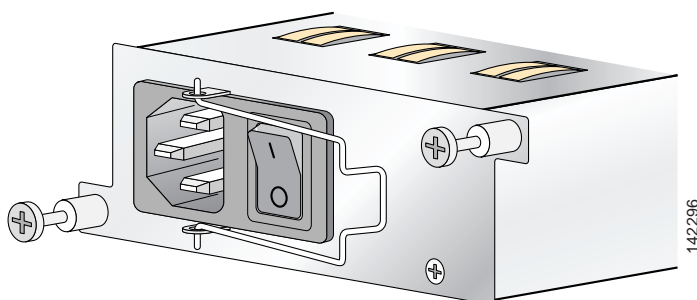
- ステップ 1** 電源の電源スイッチを 0 (OFF) の位置に切り替えます。
- ステップ 2** 電源コードの金属製ベイルを外し、電源から電源コードを引き抜きます。
- ステップ 3** Phillips ドライバを使用して、コントローラ の背面パネルに電源を固定している非脱落型ネジをゆるめます。

図 4 ネジの取り外し



- ステップ 4** 金属製ベイルを使用して、コントローラ から電源を完全に引き出します。

図 5 スロットから取り外された電源



- ステップ 5** Phillips ドライバを使用して、コントローラ の背面パネルに電源のスロット カバーを固定します。

以上で、コントローラ から電源が取り外されました。